

IT 資格 道 場

PHP8技術者認定初級試験 学習用テキスト

予備知識ゼロから合格ラインへ —— 読んで理解する1冊目

無料サンプル(第1章まで)

PHP技術者認定機構「PHP8技術者認定初級試験」出題範囲(主教材『独習PHP 第4版』の章立て) 準拠
2026年10月版

ご利用にあたって

- このテキストは「IT資格道場」(www.shikaku-doujou.com)の購入者限定テキストのうち、学習用テキストの第1章までを収録した**無料サンプル**です。どなたでもご覧いただけます。
- 無料サンプルも著作物です。転載・改変しての再配布・二次販売はできません。
- AI モデルの学習データとしてのご利用(学習目的の入力・データセット化を含む)はできません。
- 製品版(学習用テキスト・頻出度別ノート・暗記用ノートの3点)は、ご購入者を識別できる透かし入りのPDFとして提供されます。
- 本PDFはスマートフォン・タブレットでの閲覧に合わせたA5版面・文字サイズで組版しています。

目次

この教材群の使い方(3点セット)

この試験が問うもの

第1章 イントロダクション [1.1]

PHP の概要と実行環境 [1.1]

サンプルはここまでです

SAMPLE

この教材群の使い方(3点セット)

種類	役割
① 学習用テキスト	これだけで問題が解けるようになる本編
② 頻出度別ノート	テキストを読んだら次はこれ。頻出順に絞った問題と解説で「解ける」に橋渡し。試験直前の最終チェックにも
③ 暗記用ノート	覚えるべき要点だけを一問一答に凝縮。空き時間の反復と用語の再確認用

使い方: ① 学習用を読む → ② 頻出度別で解き方を掴む → ③ 問題演習で腕試し → ④ 頻出度別に戻って再確認(試験直前もここ)。暗記用は空き時間や用語の再確認に。

この試験が問うもの

PHP8技術者認定初級試験は、PHP 8.0 の文法と基本的な使い方を問う試験で、出題範囲は主教材『独習PHP 第4版』の章立てに沿っていて、章ごとの出題比率が公式に決まっています。このテキストの章立ても、同じ順番です。

項目	内容
運営	PHP技術者認定機構
問題数	40問
試験時間	60分
合格ライン	正答率7割
出題形式	選択式(単一選択と複数選択)
受験方式	CBT(オデッセイの試験会場)
対象のバージョン	PHP 8.0(特に明記がなければ 8.0.*)

出題の比率が高いのは、第10章のオブジェクト指向(17.5%)、第4章の制御構文(13.8%)、第2章の PHP の基本(12.5%)、第3章の演算子と第8章のリクエスト情報(各 10%)で、この 5 章で全体の 6 割を超えます。

本番は、コードを読んで実行結果を答える問題が多く出るので、例のコードは、手元の PHP 8.0 で一度実行して、出力を確かめてください。8.1 以降の構文(enum、readonly プロパティ、first-class callable など)は範囲に入りません。

第1章 イントロダクション [1.1]

PHP の概要と実行環境 [1.1]

PHP は、Web サーバーの側で動くスクリプト言語です。[^1]ブラウザは PHP のコードを受け取りません。サーバーが PHP を実行し、その出力 (多くは HTML) だけをブラウザへ返します。

PHP のコードは `<?php` と `?>` の間に書き、この間の外側はそのまま出力される文字になるので、HTML の中に PHP を埋め込みます。

```
?>
<p>合計は<?php echo 1 + 2; ?>円です。</p>
<?php
```

```
<p>合計は3円です。</p>
```

PHP のコードだけを書いたファイルでは、末尾の閉じタグ `?>` を省略するのが推奨です。閉じタグの後ろに空白や改行が残ると、それがそのまま出力されるので、`header()` などのヘッダーを送る関数より前に出力が出て、「headers already sent」というエラーになることがあります。

閉じタグを書いても、後続のコードが無効になることはありません。閉じタグの後ろは HTML などのテキストとして出力されるだけで、構文チェックの対象も変わりません。閉じタグは廃止の予定がなく、書いても警告は出ません。

プログラムの実行方法は 2 つで、Web サーバー経由でブラウザから開く方法と、コマンドラインで `php sample.php` と打つ方法です。

コマンドラインには、実行せずに構文の誤りだけを調べるオプション `-l` (lint) があります。`php -l sample.php` は、誤りがなければ「No syntax errors detected」と表示して終わります。スクリプトは実行されず、行番号の表示や関数の一覧の表示もありません。

そのほかのオプションは次のとおり：

- `php -v` : PHP のバージョンを表示する
- `php -r 'echo 1 + 2;'` : コードを 1 行で直接実行する
- `php -S localhost:8000` : 開発用の組み込み Web サーバーを起動する

設定ファイルは `php.ini` です。エラーの表示 (`display_errors`) やアップロードできるサイズの上限 (`upload_max_filesize`) など、実行環境の振る舞いはここで決まります。

PHP は名前によって、大文字と小文字を区別するものとしないものがあります。関数名とクラス名は区別しません。変数名は区別します。

```
function Hello() { return "A"; }  
  
$Name = "x";  
  
$name = "y";  
  
echo hello(), $Name, $name;
```

Axy

`Hello()` を `hello()` で呼べるので、A が出力されます。`$Name` と `$name` は別の変数で、x と y がそれぞれ出力されます。`$name` への代入が `$Name` を書き換えることはなく、Fatal error にもなりません。`Ayy` や `Axx` は変数名も区別

しないとした場合の出力で、実際には出ません。定数の名前は区別する側に入ります(第2章で扱います)。

PHP の特徴と基本構文

PHP の特徴は、次の 5 つにまとめられます：

- サーバーサイドで動く: Web サーバーが PHP のコードを実行し、結果の HTML などだけをブラウザへ返す。ソースコードは利用者に渡らない
- オープンソース: ソースが公開されていて、Windows・Linux・macOS など多くの OS で動く
- インタープリター型: 実行のたびにソースを読んで実行するので、実行ファイルを作るコンパイルの作業は要らない
- HTML 埋め込み型: HTML の中に `<?php ... ?>` でコードを書ける
- データベース連携: PDO などの拡張で、MySQL (MariaDB) や PostgreSQL、SQLite など进行操作できる

ブラウザの中で動くのは JavaScript のようなクライアントサイドの技術で、PHP は違います。PHP は Windows 専用の言語でも、データベースと連携できない言語でもありません。

基本構文のうち、コメントの書き方は第2章で扱います。ここでは次の2点を押さえます：

- 文の終わりは `;` で示す
- PHP のコードを書くファイルの拡張子は `.php` が基本で、Web サーバーは `.php` のファイルを PHP として処理する。`.html` のファイルに PHP を書くのは一般的ではない

サンプルはここまでです

続き(第2章～巻末)は、PHP8技術者認定初級試験 問題集のご購入で、頻出度別ノート・暗記用ノートと合わせて3点すべてダウンロードできます。

SAMPLE

PHP8技術者認定初級試験 学習用テキスト(無料サンプル)

版

2026年10月版(PHP技術者認定機構「PHP8技術者認定初級試験」出題範囲(主教材『独習PHP 第4版』の章立て) 準拠)

発行

IT資格道場(<https://www.shikaku-doujou.com>)

お問い合わせ

info@shikaku-doujou.com

PHP は PHP Group の商標です。PHP8技術者認定初級試験は PHP技術者認定機構の試験名称です。記載されているその他の会社名・製品名・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

本教材は公式の出題範囲(主教材の章立て)と PHP 8.0 のマニュアルの内容を基に作成したもので、PHP 技術者認定機構との提携・承認関係はありません。

本文・図表・設問はすべてオリジナルの著作物です。無断での転載・複製・再配布・二次販売はできません。お気づきの点は info@shikaku-doujou.com までご連絡ください。